


広報 いまり

昭和54年3月1日
第8種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円

昭和54年3月1日

伊万里市役所総務部秘書課発行 No. 301



明日を担う青少年が、ふるさとで豊かな環境づくりに励んでいます。そこには温かい心のふれあいとうるおいのある町づくりが見られます。

(写真は、神社を清掃する波多津町筒井の子供たち)

'54

3月

中規模保養基地

厚生年金休暇センター建設決まる

九州では初めて

近づく高齢化社会の対応策の一つとして、厚生省社会保険庁が49年から進めている中規模保養基地（厚生年金休暇センター）を、伊万里市に造ることを決め、54年度に着手することになりました。

三世代が楽しく過せる施設 国見台公園周辺に

中規模保養基地の厚生年金休暇センターは、国見台公園周辺に54年度着手、57年度完成予定で建設されるもので、九州では初めてです。

建設計画は、約132,000㎡（4万坪）の拡大な敷地に、老人ホームや一般宿泊施設を中核に、集会室・図書室などの教養文化施設や、体育館・プール・広場などの体育施設、遊歩道・展望台・レストハウスなどの施設を整備して、老人と子、孫の3世代の地域住民が余暇を楽しく過ごし、快適な生活が送られるようにするものです。

事業主体 厚生省 社会保険庁
管理運営 財団法人 厚生団

- ・54年度 用地購入
- ・55年度 用地造成

- ・56～57年度 建物
- ・58年4月 事業開始(予定)

観光伊万里の目玉に

地域づくりの核として期待

この中規模保養基地の利用者の範囲は、佐賀・長崎・福岡の50万人以上が対象で、市は、この基地が観光伊万里の目玉となるようにと取り組んでいます。

竹内市長は「地域づくりの核として、国見台公園と連携した活用をはかり、さらには、焼き

中規模保養基地

厚生年金休暇センターとは

高齢化社会の対応策の一環として、老後の生きがいと、より充実した生活が送られる豊かな地域社会を創造するため、老人とその家族の方をはじめ、ひろく地域住民が快適な自然の中でともに楽しく交流を図りながら余暇の活用と保養・健康づくりの場となる、いわゆる三世代各層がともに利用できる総合福祉施設を整備した保養基地です。

物とフルーツの里を生かした観光伊万里の核としてとらえていきたい」と、建設に大きな期待を寄せています。



▲厚生年金休暇センターの建設が予定されている国見台公園周辺

の犯罪や非行は年々悪質化している。
 こうなるとアンケートのとりに問題があるのか、或は高校生自体の通常の意識は意識として衝動的行動を起しがちなのか、いままし心理的分析も必要な感じがするが、私は今度の調査にこのような結果が出ていくことに注目したいと思う。一つは大都会に比してまだまだ希望が多いということ、いま一つはこれだけの結果がでていくということ、結果が少なくともそういう面があることで努力次第では事実として可能であると考えられることである。
 ただアンケートの中で、高校に入ると学校外のグループに入ることが少なく、加入していないのが92%もある。
 そういう意味では極めて閉鎖的で、むしろ伊万里などでは立派なグループが多いので交流が望ましく、最近、青年団がいろいろのグループ活動で自らの姿勢を生ながら地域において高校生に呼びかけていることは注目に値する。
 学校だけでなく地域でよき友をもつことは高校生にとって一つの救いである。

社会へ巣立つ若者

～今春卒業の4人を訪ねて～

卒業のシーズンを迎えました。市内の4つの高校から今春学窓を巣立ち、市内に就職が決まった“フレッシュな若者”4人を訪ねて、仕事のこと、伊万里のこと、将来のことなどについて、いろいろ語っていただきました。4月からは、社会人1年生としてスタートです。

ガンバレ、フレッシュマン！！



熊川典男さん

(伊農高 南波多町水留)

いま私のうちはみかんを主体とした果樹農業をやっています

澤谷春美さん

(伊学園高 東山代町里)

伊万里石油に勤めます。地元に残りたくてこの会社だけを受けました。なごやかでリラックスした感じの会社です。



仕事に就いたら、早く会社に慣れ、お客様相方の仕事だからお客様を大切にしたいと思います

が、私は、伊万里でまだだれもやっていない蘭の栽培をしたいと思っています。学校で学んだ蘭の花の美しさにすっかり魅せられてしまいました。蘭栽培の先進地である岡山へ2年間研修に行きます。帰ったら蘭を伊万里に定着させ、自分で新しい品種を創り出し、博多や佐世保の市場に出荷したいと思います。

す。伊万里は生まれ育った所だし生活しやすいですね。親孝行の意味も含めて、早く幸福な家庭をつくりたいです。

前田剛さん

(伊商高 大川内町平尾)

佐賀県学校生活協同組合伊万里支部に勤務します。

特に希望したわけではありませんが、地元で就職できて喜んでいます。勤め先では、上司や



原敦子さん

(伊高 山代町楠久津)

安定している事が一番だと思ひ佐賀銀行に決めました。社会に出て働くという事は、経験の浅い私にとってたいへんな事ですが、一生懸命努力します。

伊万里は、こじんまりとまわってとても好きです。仕事に就いたら、暇を見つけて好きな踊りや、能・パレーの舞台を見たいと思います。

先輩方にかわいがられるような人間になるよう頑張りたいと思っています。伊万里は好きですが、若者の働ける職場が、少ないですね

将来は、特技の書道を生かした習字の塾を開きたいと思っています。



盗市には至らないまでも、そころが事実、先般新聞で大きく報道されたような所沢は生に於いては、伊万里の高配りには、何等心配を要する。このアンケートを見る限り、伊万里の高配りには、何等心配を要する。このアンケートを見る限り、伊万里の高配りには、何等心配を要する。このアンケートを見る限り、伊万里の高配りには、何等心配を要する。

今、伊万里における高校生との意識調査が行われた。それによると、学校生活に満足しているかに対しては、まあまあ満足しているまでに入ると九三%、家庭生活で心配はないが八二%、家庭で話し合うかについては、時々も含めると八九%、友人がいるは九七%、心を打ち明けて相談できる人、友人が六〇%、母親が一七%、充実感を覚える時九〇%、その中でスポーツや趣味に打ち込んでいる時四五%、友人や仲間といる時四五%、そして、あなたの尊敬する人に両親がかなりの数を占めている。



あなたと考える

献血を見つめる



献血とは

献血とは、人道・博愛の精神に基づいて、ひとりひとりが自主的に、そして反対給付をもとめずに自分の血液を、不特定多数の人々のために提供することをいいます。

“献血によって人の生命を救う。これは人種、国籍をこえた崇高な人類愛の行為で、お互いの助け合いです。

かけがいのない生命を守るためには、これからも健康なあなたの血液が必要になります。

血液は人と人をつなぐ絆

4,454,066人—これは昭和52年1年間の延べ献血者数です。

以前は、輸血用血液のほとんどを患者家族、知人からの採血や職業供血者に頼っていましたが、国、地方公共団体、日本赤十字社などが、皆さんの助け合いに支えられ推進してきた献血運動で、今日では輸血用の血液は、ほぼ献血で賄えるところまでできています。

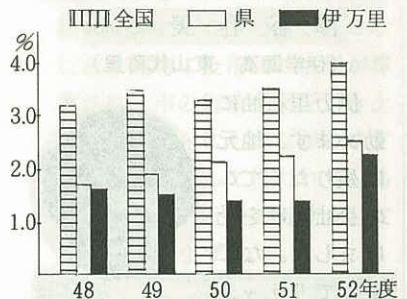
しかし、交通事故や労働災害

の多発、輸血を要する疾病の増加などによって、ますます血液の不足は目に見えています。

血液は人と人をつなぐ絆です。あなたの献血が確実に保存され人から人への尊い贈りものとなります。

いま一度「献血」ということばの意味を考えてみましょう。

献血の推移(人口対比=100人当り)



伊万里の献血状況(52年度)

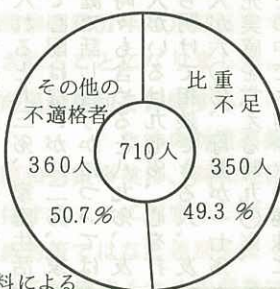


※県血液センターの資料による

献血でああなたの健康管理を

献血していただく場合には、献血に適した健康状態かどうか

採血不適格者



医師が健康診断を行います。

また、採血した血液は、血液型・肝機能・梅毒などの検査を行いさらに、あなたの健康管理のために、コレステロールの量や総蛋白などをはじめ、6項目にわたって検査して、病気の早期発見のお手伝いをします。

4人のうち1人は採血不適格となっています。あなたも献血で健康管理をしてみませんか。

ふり向こう温かい心へ

キャンペーン
シリーズ No. 7



ご存知ですか！
“輸血の119番”
(☎③ - 4753)

伊万里ライオンズクラブでは輸血を必要とする人が、血液を確保できないときに、お役に立とうと「輸血の119番」を設置しています。

これは、献血者の手帳をお預かりして、その優先配給の血液を一般の方に利用していただけるように用意しているものです。詳しくは伊万里ライオンズクラブ事務局(☎③ 4753)へ

あなたも 献血できます

次の条件に合致する健康な人なら、誰れでも献血することができます。

- ・満16歳以上～満65歳未満の人
- ・体重 男45kg 女40kg以上
- ・血液の比重が1.052以上
- ・最高血圧100mm/Hgを越え、170～180mm/Hg以下の人
- ・前回の採血から1か月以上
- ・過去6か月以内に妊娠したことがない人、生理中でない人
- ・現在病気にかかってない人

愛の献血ありがとう

お店で働く皆さんで
食堂経営の時里さんら

中井樋で食堂を経営している時里重利さん(37歳)は、これまで10回も献血されており、妹の京子さん(26歳)や従業員の内田美幸さん(29歳)、桑原孝子さん(26歳)など、お店で働く皆さんが献血されています。時里さんは「市民の輸血用の

血液は市民の献血で賄うようにすることが大切です。」と語っていました。



▲時里さん(中央)とお店の皆さん

献血運動に力を注ぐ
波多津町の田中さん

波多津町浦の田中興人さん、(37歳)は伊万里ライオンズクラブ会員で、クラブが推進している献血運動に力を注いでおられ、本人も9回の献血をされています。



田中さんは「これからもクラブとともに献血運動をはじめ、種々の社会奉仕活動が続けていきます。」と語っていました。

健康の喜びを知る
瀬戸町の林さん

瀬戸町早里の林美紀子さん、(20歳)はこれまで献血前の診断で、低比重のため不採血だったが、4回目ですべて献血できたことで「献血できることは健康の喜びを知ることで、これからも献血を続けます。」と話していました。



献血運動にご協力を

4月12日(木)

ユニード前駐車場

伊万里ライオンズクラブ・伊万里青年会議所は、県の移動採血車「しろはと号」による採血を、4月12日(木)午前10時から午後3時まで、ユニード前駐車場で行います。

採血前に医師が健康診断を行い、採血量は200mlで、特に休養をとる必要はありません。健康なときお互いが助け合いの心で血液を人のため、自分のため出し合って献血いたしましょう。

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その2～

竹ボウキを贈り続ける落合さん

美化活動にと400本

大川町駒鳴の落合一雄さん、(71歳)は町をきれいにしてくださいと、手作りの竹ボウキを大川公民館や学校、老人憩の家などの公共施設に贈り続けておられます。

落合さんが竹ボウキ作りを始めたのは3年前からで、昔、炭焼きをしたとき無理をしたためか、指先の動きが鈍くなったので、健康保持に努めながら、社会に役立つ仕事とと思い始めたとのことで、これまでに400本の竹ボウキが寄贈されました。

材料の竹は、自宅の裏山から切り出し、日当たりのよい庭先で、暇をみつけてはボウキ作りにお励みしておられます。

「ボウキ作りは自己流で、健康と趣味をかねてやっている」とのことですが、なかなか立派

なもので、商店からも売ってこないかと相談があるほどですが、きれいな町づくりにと、せっせと贈り続けておられます。

大川町は、コミュニティ運営委員会を軸に、婦人会、青年団、体育協会、若菜会などが中心となって、町民一体できれいな町づくりに取り組んでおり、「一草一チリ運動」を推進するなど美化活動に励んでいます。



▲庭先で竹ボウキ作り

ゾウキンおばあちゃんの松尾さん

不自由な目で 大坪小に 2,100枚

大坪町白野の松尾キクさん、(88歳)は着古しや不用の布切れを利用して、手縫いのゾウキンを作り、近くの大坪小学校や老人ホームなどに5年間も贈り続けてこられました。

キクさんは、目が不自由ですが、「家にじっとしているのもったいない、少しでも社会の役に立てば」と、ゾウキン作りを始めたもので、暇をみてはせっせと針を動かしておられます。

この心あた

たまる質素儉約の善意のゾウキンは、大坪小学校だけで2,098枚も寄贈されており、その後には贈るとのことでした。

ゾウキンは太めの針を使って縫われますが、目が不自由なため、針穴に糸を通すのが一苦勞で、だれかれとなく「糸は通してくんしゃい」と頼み、縫っているということで、「私の作ったゾウキンが喜ばれて使われているだけで満足しちよっばい」と話しておられました。

また、大坪小学校の先生や子供たちは、「おばあちゃんのゾウキンは丈夫で長持ちし、学校もきれいになりました。いつまでも元気でいてください」と感謝をしていました。



▲せっせとゾウキン縫いに精を出す松尾キクさん



▲市長と語る会 市青年団・4日クラブ青年会のみなさんと「市長と語る会」が催されました。(2/2)



▲おはよう走ろう会 南波多町におはようを合言葉に走る会が誕生しました。(2/4)



▲向陽園を慰問 医王保育園(二里)や大坪婦人会のみなさんが向陽園を慰問して、歌や踊りを披露しました。(2/15・16)

いま伊万里で



▲大坪公民館建設 3月20日竣工を前に最後の仕上げをしています。(2/21撮影)



▲ヒノキ・スギ苗木を出荷 県内の大半を賄う松浦町中の原の苗木出荷(2/6)



▲黒川町文化祭 ふるさとの文化を發展させようと、黒川町青年団の企画で、町民の文化祭が催されました。(2/4)



▲公民館大会が各町で開催(2/18)

地域づくりに励む畑川内の「SH会」

60年続く「誠導会」を中心に

黒川町畑川内に、部落民の相互の信頼と連帯感を高める地域づくりに励む「SH会」（坂本善義議長=93人）があります。

この会は、40歳までの既婚男性のグループ誠導会と、青年団婦人会員で、昭和32年に結成されたもので、Sは青年、Hは婦人を意味しており、毎月第1土曜日に定例の研修会を開くなど活発な活動を続けています。

研修会では、農業問題や交通道德、青少年問題など、生活に身近なテーマを幅広く取り上げ地域づくりを進めています。

この会の中心的な誠導会（坂

本勝利会長=23人）は、全国的にも珍しい60年も続いている40歳までの既婚男性の会で、SH会に夫婦で出席し、和気あいあいと話し合いがなされています

わたしたちも、畑川内部落に負けない地域づくりに励みたいものです。



▲SH会に集う畑川内部落の皆さん

廃車・名義変更は お済みですか？

手続きは早めに

軽自動車等（二輪車、農耕作業車を含む）を4月1日現在で所有している方には昭和54年度軽自動車税が課税されます。

廃車や名義変更の手続きがお済みでない方は3月末までに済ませてください。

手続きは次の所でできます。

▲原付自転車（50～125cc）、農耕車、その他小型特殊車

〔市役所税務課〕

▲三輪、四輪の軽自動車、自動二輪車

〔県陸運事務所、軽自動車協会、伊万里自家用車組合、行政書士事務所など〕

お問い合わせは税務課管理係へ（☎③2111、内線233）

中央婦人学級生募集

洋裁と一般教養
3月22日から先着70名

市中央公民館は昭和54年度の婦人学級生を次のとおり募集します。

▲学習内容 ○洋裁（初めて洋裁を習う方に限ります）

○一般教養学習

▲日程 毎週1回月曜か火曜 9時30分～15時

▲資格 市内に居住する一般家庭婦人

▲定員 70名

▲申込期日と申込先

3月22日から24日午前中までに印かん持参のうえ中央公民館で手続きしてください。（ただし、先着70人で締め切ります）

▲問い合わせ先

市中央公民館（☎②7105）

市の人口

（2月1日現在）

総人口	61,097人	(+34)
男	28,951人	(+13)
女	32,146人	(+21)
世帯数	16,239世帯	(+6)
市民課調べ、()は前月比		

3月の市民会館行事

- 毎週金曜日 9時30分～15時
免許証更新時講習会
- 3日（土）18時～22時
聖書の話し方とコンサート
- 4日（日）9時～16時
伊万里地区母親大会
- 11日（日）9時～17時
市婦人会総会
- 17日（土）13時～22時
明治大学マンドリン演奏会
- 20日（火）13時～17時
浪曲「宮川女左近」
- 25日（日）9時～13時
原付免許講習
- 30日（金）12時～17時
県知事選挙立合演説会

町別飲酒運転検挙者数

（昭54.1.31現在 伊万里警察署調）

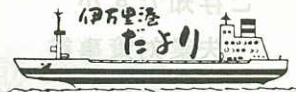
町名	1月	昨年同期	増減
伊万里	6	6	-
黒川	1	0	+1
波多津	1	1	-
南波多	0	0	-
大川	0	1	-1
松浦	0	1	-1
二里	0	0	-
東山代	1	1	-
山代	0	1	-1
（県外）	5	4	+1
計	14	15	-1

小規模土地改良事業

申請受付は4月1日から

- ▲昭和54年度の農業基盤整備を図るため小規模土地改良事業を共同で施行される方は、4月1日から7月31日までに認可申請書を提出してください
- ▲この事業は、1団地の受益農地面積がおおむね1ヘクタール以上で受益戸数が5戸以上となっています。
- ▲補助対象事業は次のとおりです。

- 農道（幅員2.5メートル以上）溜池、水路（土水路を除く）頭首工、橋梁、農道舗装（幅員2.0メートル以上）などの事業で、いずれも総工事費は100万円以内の事業が対象となります。
- 補助率は当該事業に要する経費の100分の45以内です。
- ▲昨年申請しながら認可されなかつた分は再申請が必要です
- ▲お尋ねは市産業部土地改良課へ（☎②2111内線381）



1月

貿易額は13億9,300万円で、輸出のみ。内訳は南洋材9億3,700万円、米材が4億5,600万円となり、月平均輸入量の12%増。

船舶の入港

日本船5隻、外国船17隻（台湾1、マレーシア1、パナマ12、リベリア3）の計22隻で、前月比2隻の増

あなたの一票を
たいせつに



▲県特選の松尾美和子さん
(伊万里中3年)の作品

乳児検診

- ▲対象者 昭和53年3月1日から昭和54年2月末日までに生まれた幼児
- ▲期日と場所
 - 3月16日（金）二里公民館
 - 3月19日（月）大川公民館
 - 3月22日（木）山代公民館
 - 3月23日（金）東山代公民館
- ▲時間 13時30分～14時30分
- ※母子手帳をご持参ください。

国民金融公庫

進学資金をお貸しします

国民金融公庫は高校や大学などに進学する方の父兄を対象に進学資金の貸し付けをします。種類は一般貸付と郵便局の進学積立郵便貯金預金者貸付（略称・郵貯貸付）の二種類です。

▲貸付条件

成人病・妊婦健康相談

午前中は成人病相談、午後は妊婦健康相談を行います。

▲期日と場所

- 3月20日（火）黒川公民館 南波多公民館
- 3月27日（火）松浦公民館 山代公民館

▲成人病相談 血圧測定、検尿 高血圧の予防など

○時間 10時～11時30分

▲妊婦健康相談 妊婦、分娩、産褥期の保健衛生など

○時間 13時～14時

一般貸付は年収500万円（事業所得者は355万円）以内の方、郵貯貸付の場合は進学積立郵便貯金の預金者

▲貸付金額

一般貸付50万円以内、郵貯貸付54万円以内

▲貸付期間と利率

進学する学校の所定修業年限以内で最高4年。年利7.1%

▲返済方法

元利均等月賦返済。ボーナス時増額返済併用も可。

▲取扱窓口

一般貸付＝金融公庫の本支店
公庫業務取扱金融機関
郵貯貸付＝進学積立郵便貯金をしている郵便局

▲取扱期間

受付は4月末日まで、貸付は5月末日まで行います。

※申し込みについての詳細は取扱窓口にお尋ねください。

ご存知ですか

失業対策事業

市の失業対策事業は市道の舗装や公共施設の清掃など、市内の環境整備や美化に役立っています。その一つとして行われている花や木の苗木栽培は、市内の小中学校の教材用や校内の環境美化に一役かっています。

すでに南波多中学校につじアベリア・山茶花・椿・玉つげなど520本が贈られ、すばらしい学校園ができあがりました。

また大川内小学校の新築落成に合わせて170本の花や木が贈

られ、建物に負けないりっぱな庭園が作られています。

その他、国見台公園や、各地の公園にも植えられ、市民の皆さんに親しまれています。

これらの花や木は、失業対策事業に働く皆さんが、苗木から精魂込めて育てたものです。

大切にかわいがりましょう。



▲苗木の一本一本に精魂こめて

職業訓練生二次募集

受付 3月20日まで

▲募集職種と定員

機械科=25名

塗装科=10名

▲訓練期間 2年

▲資格

昭和54年3月中学校卒業予定者、または中学校卒業程度の学力を有する者。

▲受験手続(無料)

所定の願書を3月20日までに職業訓練校(東山代町里⑧0155)か職業安定所へ提出してください。

同 和 対 策 事 業 特 別 措 置 法

3年間の延長決まる

〔同和対策事業特別措置法の成立〕

昭和40年、同和対策審議会はとぎの内閣総理大臣に対し、4か年に及ぶ慎重な審議を経て、『同和地区に関する社会的及び経済的諸問題を解決するための基本方策』について答申を出しました。

この答申をうけて、昭和44年昭和の解放会ともいうべき「同和対策事業特別措置法」が、10か年の時限立法として公布、施行されたのです。

〔特別措置法の延長と内容〕

この法は、答申の趣旨を尊重し、同和地区における生活環境の改善、社会福祉の増進、産業の振興、職業の安定、教育の充実、人権擁護活動の強化を図ることを目的としたもので、これによって国、県、市も10か年の長期計画を策定し、今日まで対策事業を進めてきました。しか

し、これまで長い間放置してきた部落を解放するための施策はあまりにも多く、今日なお多くの対策事業が積み残しの状態になっているのが実状です。

この間、部落解放同盟を中心に、各種団体が法の強化延長の運動を展開し、また、多くの地方議会も、延長要求の決議をして国へはたらきかけてきました。こうした世論の背景をもとに第85国会で、特別措置法の3か年延長が可決成立し、昨年11月13日、公布・施行されました。これによって特別措置法の有効期間が昭和57年3月31日まで延長されることになりました。

〔市民的権利を保障する

ための対策事業〕

同和対策事業は、同和地区に居住する人々に対する、単なる救済対策ではなく差別をなくし部落を解放するための事業です

対策事業によつて、同和地区の生活環境がよくなり、生活水準が向上していくことは、同和地区の人の奪われていた市民的権利を保障することであり、このことは同時に全市民の権利が尊重され、市の行政水準を引き上げていくことにもつながります。同和地区に対して行われている対策事業は、行政の責務として実施しています。



▲社会同和教育推進大会

私たちは今回の特別措置法3か年延長の意義を正しく理解し同和問題が、国及び地方公共団体の責務とし、同時に国民的課題として一日も早く抜本的に解決されるよう努めなければなりません。

あなたとわたしの消費生活展開催

市消費者グループ協議会は、
 くらしの中の資源と安全を見直
 そうと消費生活展を開きます。
 賢い消費者になるため一度お
 出かけになってはいかがですか
 期 日 3月24日(土)・25日(日)
 時 間 午前10時開催

場 所 市中央公民館
 (主な展示内容)
 ・資源を大切に ・生活を守る
 安全マーク ・くらしの中の危
 険 ・手づくりおもちゃ・おや
 つコーナー ・電気相談コーナ
 ー ・不用品バザーなど

特設人権相談所開設

人権や相続の問題などに人権擁護委員が相談に応じる無料特設人権相談所を開設します。
 ▲日時 3月23日 10時～15時
 ▲場所 黒川公民館
 ▲担当 人権擁護委員 古竹福寿氏

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)
 社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
- ・水尾敏夫(波多津町浦)
- 亡父今朝治
- ・武藤生保(立花町渚 亡母スミ)
- ・前田憲治(南波多町笠権 亡父延)
- ・中村達也(木須町木須東 亡父弥七)
- ・前田勝教(南波多町大川 原 亡父正)
- ・大久保速見(大川町長野 亡五女クリエ)
- ・原口久幸(波多津町浦 亡母ヒサ子)
- ・岡崎ヒチ(松浦町岳坂 亡夫源次)
- ・西山マサヨ(山代町久原 亡夫寅次郎)
- ・井手輝男(黒川町大黒川 亡祖母ミセ)
- ・金子テル子(山代町桶久 亡夫竹次)
- ・石橋正男(上土井町 亡父巽)
- ・久保田チモ(脇田町脇田 亡父稔)
- ・平野栗江(新天町 亡夫安雄)
- ・浦川清秋(二里町福母 亡父里見)
- ・松尾明(瀬戸町中通 亡父善市)
- ・池田キミ(立花町東円



ありがとう

ごさいました

- 亡夫司)
- ・岩崎虎男(大川内町市村 亡母コウ)
- ・中尾博(東山代町脇野 亡二男克也)
- ・仲尾トメ(大川町立川 亡夫末五郎)
- ・柿原真一(東山代町大久 亡義母サダ)
- ・濱野邦敏(東山代町大久 保 亡父初次)
- ・坂本勝利(黒川町畑川内 亡祖母ツナ)
- ・井手俊夫(元町 亡妻智江)
- ◆篤志寄付
- ・式千円 西野和夫(東山代町里 拾得金期限満了)
- ・老万老千二百九拾円 黒川陸朗(山代町桶久)
- ・五百六拾弍円 匿名
- ・五千元 牧野敏昭(東京都 伊万里警察署経由)
- ・参千円 匿名(黒川町 小学生 父母のいない入に)
- ・五千元 嶋田春水 春華会(花展の折の募金を)
- ・四万六千円 伊万里陶芸クラブ二日会(チャリティ 益金を恵まない方へ)
- ◆指定寄付
- ・式万九千五百円 長畑和子(幼児検診謝礼を市中心障害者母の会へ)
- ・水尾敏夫(亡父今朝治の香典返しを波多津保育園建設資金へ)
- (累計六二〇万四、一五三円)
- ◆教育施設・設備の充実へ
- ◆香典返しを寄付
- ・原口久幸(波多津町辻 亡母久子 香典返しを波多津小指定)
- ◆篤志寄付
- ・拾万円 大久保敏次郎(大川内町平尾 大川内小施設充実費へ)
- ・書棚・書籍 佐賀県教職員互助会(黒川小立目分校)
- ・滝野小下分・日南郷分校へ
- ・図書室閲覧机三机 宮地邦彦(退職記念に南波多中学校へ)

- ・医療器具セット 黒川町小島俊夫・小島病院従業員一同(チャリティショーの益金を黒川小・東黒川小・黒川中学校へ)
- ・磁石式電話交換機一台 電話機十一台 電々公社(市歴史民俗資料館と南波多町の小・中学校へ)
- ◆体育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・松尾豊(本町三、四丁目 亡母ヤス)
- ◆篤志寄付
- ・老万円 中島紘一(新天町六五四)
- ◆交通安全対策へ
- ・五千拾参円 伊藤石油桃川給油所(店頭に置いた募金箱のお金を)
- ◆青少年育成資金へ
- ・松尾豊(本町三、四丁目 亡母ヤスの香典返しを)
- ◆市民病院事業整備資金へ
- ・松尾新一郎(新天町 亡父三郎の香典返しを)
- ・大川町づくり推進資金へ
- ・仲尾トメ(大川町立川 亡夫末五郎の香典返しを)
- ◆消防庁舎の環境緑化整備へ
- ・カイジカイブキ一六五本 山口幸子(大坪町白野 亡夫の香典返しに)
- ◆大坪公民館施設整備資金へ
- ・武藤生保(立花町渚 亡母スミ)
- ・岩本豊(立花町西円 亡三女悦子)

こどものページ

おおざとけんどう (団体) 大里剣道 3年連続優勝

第9回スポーツ少年団剣道大会

2月11日、第9回スポーツ少年団剣道大会が国見台体育センターで開かれました。試合は小学校低学年(1~4年生)、高学年(5~6年生)、中学校の部に分かれ、団体戦38チーム、個人戦117人が参加して、熱戦がくりひろげられました。成績は次のとおりです。



▲熱戦が展開された剣道大会

〔団体戦〕

- 小学校低学年(4年生以下)
 - 優勝 大里剣道 (二里町)
 - 2位 久原剣道 (山代町)
 - 3位 修武館 (山代町)
- 小学校高学年(5年以上)
 - 優勝 久原剣道 (山代町)
 - 2位 赤門館A (大坪町)
 - 3位 大里剣道A (二里町)
- 中学校
 - 優勝 山代町A (山代町)
 - 2位 山代町B (山代町)

3位 波多津 (波多津町)〔個人戦〕

- 小学校低学年
 - 男子 優勝 浦川卓也(大里)
 - 2位 山崎伸二(久原)
 - 3位 大古場勝洋(大里)
 - 女子 優勝 末次智佐(伊少剣)
 - 2位 西山淳子(〃)
 - 3位 大坂明子(〃)

小学校高学年

- 男子 優勝 清水嘉浩(大里)
- 2位 牧瀬省吾(〃)
- 3位 金子恵一(〃)
- 女子 優勝 馬場真澄(大里)
- 2位 草場良枝(赤門)
- 3位 草野香恵(大里)

中学校

- 男子 優勝 寺沢敏展(山代)
- 2位 立石和大(立花)
- 3位 牧瀬竹彦(久原)
- 女子 優勝 三戸谷京美(立花)
- 2位 平川福美(滝野)
- 3位 斉藤美樹(〃)

青少年育成作文コンクール 小学校低学年の部 最優秀賞



わたしのゆめ

波多津小学校三年
田中 三枝子

とし子ちゃんは、本当は一年生なのです。でも、生まれつき体が不自由で、学校どころではありません。お母さんの手もはなれません。

わたしは、小さいころから、かんどふさんになろうかと思っていました。が、とし子ちゃんの所へ遊びに行ったりしているうちに、だんだん、体の不自由な人の世話をするかんどふさんになろうと思えました。

世の中には、ねたきりの老人や手足の不自由なばかりか、言葉も出ず、一人歩きもできず学校に行きたくてたまらなくても行かれない人もたくさんあるでしょう。そして、そのお母さんたちは、仕事をしたくてもされず、子どもの世話がかりでくたくたにつかれるでしょうし、心配もたいへんだらうと思います。

きのうのニュースで、わたさりのおじいさんを世話しているおばあさんが、「わたしより先におじいさんが死んでくれればいいのですが……。それを考えると夜もねられないのですよ」と話していました。わたしは、それを聞いてやっぱりかんどふさんになって、あんな人たちの世話をしあげようと思いました。体の不自由な人たちは、手や足が少しでも自由に動かせるようになればどんなにうれしいでしょう。わたしは手や足の動かない人には、手や足をにぎってやさしく運動させてやります。薬のいる人には毎日ちゃんとのませてもらいます。子どもには本など読んでやったり、いっしょにお話ししながら友だちになってやります。もちろんおじいさんやおばあさんたちの話相手にもなってやります。病院が火事になれば子どもたちをだいて、早くかいだんを下りてひんさんさせようと思います。わたしはちよっとそっかしいむすめなので、何か失敗するかもしれないけど注意すればちゃんとできるだらうと思います。わたしは今からやさしいかんどふさんになるために、いっしょうけんめい勉強したいと思います。